

第四次葉山町総合計画基本構想（案） 第四次葉山町総合計画前期 基本計画（案）に対する葉山町総合計画特別委員会（議会）からの 意見等への対応一覧について

【葉山町総合計画特別委員会（議会）】

基本構想（案）

【葉山町総合計画特別委員会（議会）】

○ 第四次葉山町総合計画基本構想（案）に対する総合計画特別委員会（議会）からの意見等への対応一覧について

事務同 案 ページ	答申案 ページ	各委員からの論点等	7月14日会議での論点等に対する審議結果	町の対応	
1	3	序論において、町の歴史や地勢等に関する記述が一切ないが、今後記載する予定がありますか？	町の歴史や地勢等に関する記述をすべきである。	町の歴史や地形的条件等について記載します。	
		序論で、「10年後のあるべき姿」とあるが、20年、30年、100年先の葉山を想定して検討し、今回の構想としては10年間の期間、とすべき。長期の視点についても記述を。	10年後の「あるべき姿」が記載されているが、50年後、100年後の長期的視点で考えた「あるべき姿」についても記述すべきである。	50年、100年後においても、現在と変わらない豊かな自然環境が守り育てられ、快適で心豊かな暮らしが引き継がれているようなまちを念頭に置いた表現を記載します。	
		東日本大震災の記述の次に、「公共インフラの老朽化は、将来のまちづくりにも大きな影響を与える要素である。財政・まちづくりの観点からも、この問題に真摯に取り組んでいく。」と入れては、	左記の記述（考え方）は、序論ではなく、基本目標の中に記述すべきである。	公共インフラの老朽化に伴う維持管理・更新問題への計画的な取り組みについては、基本計画中の「基本施策39 公共施設の有効かつ適切な管理」の中で記述します。	
2	4	「町民と協働で推進できる計画」で、町民と行政が適切な役割分担のもととあるが、行政としての適切な役割分担の基本は、何か	第2章の構成や記述内容が良くない。全体的な記述の見直しの検討が必要である。「住民参加」の文言は記述すべきである。	第2章「計画の基本姿勢」は、「第四次葉山町計画策定方針」中の「2 策定に向けた基本姿勢」で掲げた4つの基本姿勢を転記しています。常にこの基本姿勢を念頭に置きながら、計画の策定作業を進めてきたところであり、本計画の拠り所となっているため、是非このまま使っていきたいと考えます。	
5	11	3つの基本理念について、主語が曖昧で、内容が読み取りにくいので、表題は、もう少し分かりやすくしたほうがよいのでは。	3つの基本理念のタイトルのバランス（文言表現など）を町側に検討してもらうこととする。	ご指摘のとおり、「街が躍動する」葉山を見直し、「活力を創造する」葉山とします。	
		基本理念の“街が躍動する”葉山 の「街」の字と、躍動するという表現がしっくりとこない。“活力（元気もしくは笑顔）を創造する”葉山が良いと思います。			
6	12	葉山の強みである都心から近く、優れた景観と、文化・芸術を含む多方面で活躍する住民、財力、経験、健康を備えた多くの高齢者の力が将来の葉山町を創り上げるという趣旨の記述がほしい。	左記のことを盛り込めるか、町側に検討してもらうこととする。	ご指摘の点については、本文6行目の「葉山」に暮らす、すべての人がまちづくりの主役になって、（中略）まちを創造していく必要があります」に包含しているため、現行のままでいいかと考えています。	
		将来像の中に「笑顔」を盛り込むべきである。笑顔で過ごせる町には、葉山に存在し続けている“ゆとり”が感じられるから。	一委員の意見として扱う。	ご指摘の視点も踏まえながら、検討します。	
7	13	日本一の（一例として 文化・芸術の町）を目指すという将来目標を記述しては、	左記の様に、もう少し強く訴える表現が必要と思われる。	日本一ともいえる葉山自慢の“美しい海とみどり”を守り、維持していくことを念頭に置いた表現としています。	
		将来人口の推計には、今後の力強いまちづくりのメッセージが感じられない。特に年少・生産年齢人口の減少を防ぐには、どのような施策の展開が必要で、そのための財源の確保をどう図っていくのかを、本計画の最大の課題とすべき。そこから、まちの存続と次世代につなげていく様々な計画・施策を考慮すべきと考える。	人口推計だけでなく、政策に基づく人口目標を記述すべきと考える。現案は「計画」であるのに最後の3行は消極的すぎる。人口減少社会に突入する中であっても、現状の維持を目標にするなど町の姿勢を示すことが必要である。これらのことから本章の記述は改めるべきであること。人口動態（流入元）等の調査分析が必要であること。（前ページ記載）		まちの活力を維持していくために、現在の人口を可能な限り維持していくことやバランスのとれた年齢別人口構成の確保についての記述を検討します。
		「人口減少を最小限に抑える」という記述に加え、「人口構成のバランスを考慮し、若い世代の転入・定住者を増やす」を入れては、			
8	14	10年後の将来推計が出ているが、今後のまちのあるべき姿を想定していくには、各6地区も含め、50年先の推計を出したうえで考えていくべきでは、			
		「行政運営編」「協働まちづくり編」にはいかがか。	「行政運営編」では住民参加・住民自治の理念が感じられないことから、左記の記述にすべきである。	ご指摘の方向で対応したいと考えます。	
		高齢者福祉の薄さ。政策分野の中に「保健・医療・福祉」とまとめてあり、問題を捉えているとは思えない。	高齢者・障害者など弱者に対する政策が「保健・医療・福祉」に一まとめにされており、問題としての捉え方が低い。11ページの基本目標に具体的に記述することを検討するなど、このことはペンディングとする。	「保健」「医療」「福祉」については、お互いに密接に連携して推進していく政策分野であり、「健康で安心できる生活の保障」を目指していくという点で一致しています。町民の持つ複雑で複合的なニーズに、お互いを有機的に機能させて応えていく必要があることから、基本構想における政策分野としては、現行案である「保健・医療・福祉」で整理したいと考えています。ご指摘の点については、その趣旨を踏まえながら、詳細な課題認識、基本となる方針、具体的な取り組みについて基本計画の中で記述します。	

事務同 案 ページ	答申案 ページ	各委員からの論点等	7月14日会議での論点等に対する審議結果	町の対応
9	15	数字の違いをつけたほうが見やすい。政策の分野は、基本目標・取り組みの方向ともに記載されたほうがわかりやすい。取り組みの方向の表現は「暮らせている」ではなく「暮らしている」と表現すべき。 (取り組みの方向) (目標達成に向けた取り組み)のほうが良いと思います。短くするなら(目標達成に向けて)(目標達成の取組み)では。	「～されている」という表現がしっくりこない。「めざす」表現にすべき。「～されている」の表現については、(第5章)全般にわたり違和感があるが、前回に委員会で企画調整課に投げかけているので、町側がどのようにするか、確認する。	ご指摘の点を踏まえ、分かりやすい数字の表記や能動的・主体的な文言で表現していきます。
		「年齢や体力に応じて運動することができる場や機会を提供する」の項目に、「社会参加と健康寿命に貢献する葉山らしい取り組みを展開する」と入れれば、	総花主義を脱却するとしているのに基本目標2の「取り組みの方向」が「生涯学習」～「平和」まで盛り沢山となっている。「交流」と「人権」を同じ項目に入れてることや、「人権」・「平和」の文章がないこと等、町側に確認する。	「基本計画」においては、「交流」と「人権」に関する記述は基本施策を分けて整理します。また「人権」・「平和」に関する表現を加えます。
11	17	施策の大綱・基本目標4に、高齢社会を支える取り組みが見当たらない。	高齢社会の現状に係る取り組みの記載について、町側に検討してもらうこととする。	ご指摘の点については、「基本計画」中の「基本施策12 高齢者福祉の充実」の中で、現状及び課題認識、基本となる方針、具体的な取り組みについて記述します。
		高齢者や障害児・者、その家族を支援する…「一人でも住み続けることができる地域を目指し」というような表現を加えては、		ご指摘の趣旨を踏まえた表現を加えます。
12	18	(10)消防指令の共同化が進展していることを記述すべきでは。	左記のことは、基本計画に記述されれば良いとする。	ご指摘の点については、「基本計画」中の「基本施策 消防・救急体制の確立」の中の「具体的な取り組み」において記述します。
		「ゼロ・ウェイストの理念のもと」は、削除を。	「ゼロ・ウェイストの理念のもと」と記述した町の考え方について確認する。	環境への負荷をできる限り低減する資源循環型社会を実現するためには、ごみの徹底した資源化減量化を推し進めるゼロ・ウェイストの理念は欠かせないものであるため、現行の案でいきたいと考えます。
		「安定的なごみ処理体制」の確保の前に「近隣自治体との連携を目指し」など、近隣自治体との連携の方針を明確に入れるべき。	基本計画に記載される内容を確認し、検討する。	ご指摘の点については、「基本計画」中の「基本施策15 循環型社会の形成」の中の「単位施策15-02 ごみの安定処理」において記述します。
14	20	(16)「公共交通環境」に交通計画の策定が必要では。(交通過疎地対策も含む)	基本計画に記載される内容を確認し、検討する。	だれもが使いやすい公共交通環境の形成に向け、「基本計画」において町内の主要な交通手段である路線バスについて、その充実を図るため周辺自治体や事業者と連携し、課題等の把握・検討を含めた今後の方策の検討を進めることを記述します。
		他のページも含め、街が躍動する葉山は、いきいきと暮らせるなどの表現と置き換えては、躍動は、イメージが違う。	基本計画に記載される内容を確認し、検討する。	「“街が躍動する”葉山」「“活力を創造する”葉山」に見直します。
14～15	20～21	基本目標7「都市基盤」、基本目標9「産業・経済」の中に、「美しい街並の形成 電線の地中化を目指す」を計画に盛り込むべき。	基本計画に記載される内容を確認し、検討する。	「基本計画」中の「基本施策23 地域特性を生かしたまちづくりの推進」の「単位施策23-02 良好な景観の形成」において、ご指摘の点も包含した表現を加えます。
17～21	23～27	第6章の土地利用基本構想は、現代に即した記載に変更してほしい。恐らく「都市計画マスタープラン」の改訂と連動していくと考えておりますが…。	都市計画マスタープランの改訂により、記述が変更されるのか、町側に確認する。	都市計画マスタープランの改定作業を踏まえた記述をします。
18	24	土地利用の基本方向は、「3」であげた人口推計とまちの方向性で、変わってくると思うが、	町側に確認する。	ご指摘のとおり、整合を図ります。
21	27	複合型住宅ゾーンで、文化芸術等の集客施設の存在は、適切なのか。	町側に確認する。	県立近代美術館を示しています。
その他	その他	PDCAサイクルの確立手法をどう構築するか。計画のどこに明記するか。	町側に確認する。	PDCAサイクルを活用した総合計画の進行管理については、基本計画の中に記述します。
		基本目標を掲げるのに、基本理念・基本目標をあげるだけでなく、現状と課題を箇条書きしたのもあったほうが、良いのでは。	今後検討していく。	「基本計画」において、「基本目標」に結び付く「基本施策」ごとに「現状と課題」、「基本方針」、「具体的な取り組み(単位施策)」を記述します。
		基本目標が、住民の満足という設定に偏りすぎて、まち全体のイメージにかけるのでは。	今後検討していく。	次期の「基本構想」は地域社会の将来の姿を表す計画として位置づけており、その策定主体は行政のみではなく、新たな試みとして実施したワーキンググループや町民アンケート等さまざまな手法による町民も含めたものとなっています。 「基本構想」中の「基本目標」については、ワーキンググループ・町民アンケート等結果から見えた政策分野ごとのめざすまちの姿や職員による第三次総合計画の振り返りを踏まえ、町民と行政の協働によるまちづくりによって達成されるまちの姿を、町民・行政双方の視点に立って、地域社会全体で共有できるような表現としています。

基本計画（案）

【葉山町総合計画特別委員会（議会）】

○ 第四次葉山町総合計画前期基本計画(案)に対する総合計画特別委員会(議会)からの意見等への対応一覧

事務局 案 ページ	答申案 ページ	論点等	町の考え方(案)
10	38	P10 「まちづくり指標」不登校児童生徒数「めざそう値」「平成31年度」「6人」となっているが、その根拠は、「6人」ならよしとするのか。「0人」を目指すのではないのか。	「不登校児童児童生徒数」については、指標として適当でないと考え、削除します。
		10P 指標名で「不登校児童生徒数」は目標値には馴染まないと感じる。もし記載するなら目標値は0人とすべきである。	
11	39	11P 単位施策1-01において、小中学校における教育課程の連携とは、どのような内容なのか確認したい。小中一貫校の設置が最終目標なのですか。	学習内容における小中学校相互間の共通理解・連携を図っていくことを記述しています。
		P.11 1-02「中学校における学校給食の実施を目指します。」だけが、到達・達成目標の言い回しなのか。違和感あり。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
		11P 単位施策1-02において、中学校における学校給食の実施を目指すとするが、かなり踏み込んだ記載となっているが、実施計画での記載内容は検討されていますか。	「実施計画」における記述については、検討中です。
		11P 単位施策1-04において、「共同を楽しみ」という表現があるが、「共同での作業や体験活動等を楽しみ」としてはいかがでしょうか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
12	40	12P 現状と課題において、「希薄化」ではなく「人間関係の希薄化」とした方が良いのではないのでしょうか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
13	41	P13 単位施策2-1 生涯学習活動の「支援」「充実」では	生涯学習活動については、町民が幅広く生涯学習活動に参加できるきっかけづくりや、人や団体のネットワークづくりといった環境整備が大切であると考えますので、現行案のままでいきたいと考えます。
		13P 単位施策2-02において、「また、生涯学習の場として、民間の空き家や遊休スペース等の活用に向けて、ハード…」と文章構成を変更してはいかがでしょうか。	ご指摘の点を踏まえ、修正します。
		P13 単位施策2-2 生涯学習の場の確保4行目「遊休スペース」とは。	ここでいう「遊休スペース」とは、建物そのものではなく、建物内の個々の部屋、箇所、未利用時間帯なども含めたものを指しています。
14	42	P14 現状と課題の中に「施設・設備の老朽化」含めるべきでは。	ご指摘の点については、「基本理念4 “みんなで支える”葉山中の「基本施策39 公共施設の有効かつ適切な管理」の中で整理しています。
15	43	15P 基本方針において「館の魅力化」という表現がしっくりしない。「情報発信の工夫などにより、館の魅力を引き出し、新しい…」もしくは「情報発信や館の魅力を引き出す工夫により、新しい…」のどちらかに表現を変更してはいかがでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。
		15P 協働でできることにおいて、ボランティアを無償で強要しているようなイメージに受け取られかねないので、「ボランティア」という言葉は削除して、「積極的に参画します。」ではいかがでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。
17	45	P16の町内にスポーツ施設が不足する中 単位施策で「検討」を加えては。	単位施策名を「既存施設の有効活用」から「スポーツ環境の充実」とし、ご指摘の趣旨を踏まえた表現を加えます。
		P17 「既存施設の有効活用」のみで、「スポーツ施設が不足」と認めているにもかかわらず、検討も加えていない。このような姿勢で「スポーツ振興」などと言ってほしくない。「スポーツ立町」を目指すくらいの取り組みが必要では。	
		17P 単位施策4-03において、「利用方法の利便性向上」もしくは「利用方法や利便性の向上」ではないのでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。

事務局 案 ページ	答申案 ページ	論点等	町の考え方(案)
20,21	48,49	20P まちづくりの指標は不必要であると思います。全体的に基本施策6の表記内容が薄く、今後の基本的な考え方を再考する必要があるのではないのでしょうか。単位施策の中の「今日的な」という表現を用いていますが、具体的なイメージがわいてきません。	「まちづくり指標」については、「基本施策」の進行管理をするうえで、不可欠であると考えています。また、国際姉妹都市における“今日的な”とは、ICT(情報通信技術)などを活用した交流メニューなどを想定しています。
21	49	P21 「交流活動の推進」は「姉妹都市」に限定することなく、「友好都市」等の交流の広がりも検討すべきではないのか。 (追加)門戸を広げる表現があっても良いと思う。パートナーシップという中で、(友好都市も含め)広い意味で記述することが出来ないか。	交流の広がりについての検討も踏まえつつ、まずは既存の姉妹都市交流の充実に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。
22	50	当初の論点として提出されず、8月29日委員会で提出されたもの 「人権相談の件数 0件」の表現が良くない。	「人権相談の件数」については、指標として適当でないと考え、削除します。
23	51	P23 「男女共同参画の推進」女性の社会参加について位置づけされていない。職員採用や審議会への女性参加についても位置づけるべきでは。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。
	51	(追加)単位施策7-02「男女共同参画の推進」の中にDV対策が入っているが、これは「人権」の方に入れるべきと思う。	DV(ドメスティック・バイオレンス)対策については、現在策定中の第3次男女総合参画プランやDV対策基本計画において、一人ひとりが性別にかかわらず個人として尊重される男女共同参画社会を実現する上で、早急に対応しなければならない重要な課題として位置付けていることから、その整合を図り、本単位施策で整理しています。
	51	23P 協働でできることにおいて、表現が上から目線に感じられて仕方ありません。「…平和に関する学びの場を、町が積極的に提供して、町民の参加・協力を仰いでいきます。」ではないでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。
25	53	25P 協働でできることにおいて、「児童虐待の早期発見のために、双方向の情報提供に積極的に取り組みます」のような表現を加えてはいかがでしょうか。	「単位施策8-02 子どもの健やかな成長」の中にご意見の趣旨を包含していると考えています。
28 29 35	56 57 63	P28、P35 「健康で生き生きと暮らしているまち」P29「自発的な健康づくりの支援」のみでなく、「10年間の数値目標を入れた計画を策定」と記述すべきでは。	健康づくりに関する数値目標を掲げる場合、進行管理していく上で5年程度の計画期間が適切であると考えています。「10年間の数値目標を入れた計画を策定」することの検討については、現行の健康増進計画・食育推進計画(H25-29)の見直し時に行っていきます。
		(追加)食育には、学校給食も含めるべきと考えるが、現在の食育計画には入っていない。	食育計画の内容については、教育委員会との協議を踏まえたものとなっています。
		(追加)スポーツの記載を再掲すべき。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。
31	59	P31 「かかりつけ医の普及・促進」「在宅での療養や看取りができる体制作り」と述べているが、どのような体制作りを考えているのか。出来るのか。	「在宅での療養や看取りができる体制づくり」については、現在「逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会(構成団体:医師会・歯科医師会・薬剤師会・逗葉地域医療センター・逗子市・葉山町)」において検討作業を行っています。
33	61	(追加)「空き家を活用した福祉拠点作りを協働で研究」での町の関わり・姿勢は。	小地域福祉活動の拠点(場所)として、地域住民等の情報や土地建物所有者の協力を得ながら、空き家を活用した拠点作りができるか葉山町社会福祉協議会と協働で研究していきます。
		(追加)「側面支援」ではなく、「支援」でいいのではないのか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。
		(追加)空き家問題は、定住政策の中で考えていくべきである。人口減少に対応するため、色々な対策を計画に取り入れるべき。	ご指摘の趣旨を踏まえ、空き家の有効活用等の取り組みについては、「基本理念4 “みんなで支える”葉山」中の「基本施策33 協働によるまちづくりの推進」の中で位置付けます。

事務局 案 ページ	答申案 ページ	論点等	町の考え方(案)
35	63	P35 「葉山ならではの『地域包括ケア』」とあるが他地域との違い、葉山の特徴をどのようにとらえ考えているのか。 将来像として、支えあいによって、すべての人が安心して暮らしている。とあるが、全体的に、介護度の軽い人や要支援者などが対象としている部分ばかりで、介護度の重い方をどのように支えるかが見えてこない。重い方を在宅で介護し看取るまでの計画が見えない。介護サービスに託すのであれば、「ニーズに応じた介護保険サービスの供給量の確保」だけでは不足ではないか。	本町の高齢者を取り巻く特徴として、福祉課実施の高齢者アンケート結果等から持ち家率が高い(80.2%)や在宅での生活希望率が高い(86.5%)、地域との関わりが比較的充実していることが挙げられる。また、かかりつけ医は高齢者の80.7%が持っているなど、比較的在宅での医療との関わりはできていることが挙げられます。 また、地域コミュニティの活動が今以上に活性化することにより、地域と行政が協働できる部分は大きいことも特徴として挙げられます。 これらのことを踏まえ、「葉山町ならではの『地域包括ケア』を推進していきます」。 また、介護度の重い方については、医療と福祉の連携による取り組みについて「実施計画」の中での記述を検討します。
		(追加)「葉山ならではの」に、元気な高齢者について記載しては、	「葉山ならではの」具体的な高齢者像については、現在策定中の「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」で記述します。
		(追加)「高齢者の状態像」ではなく、「状態に応じて」とすべきではないか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。
		(追加)めざそう値は、認定率ではなく参加数などのほうがいい。	「要支援・要介護認定率」については、指標として適当でないと考え、削除します。
		(追加)単位施策12-03「介護保険サービスの充実」に保険料のことを書かないほうがいいのではないか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、削除します。
36	64	(追加)地域で障害者が理解されていると思う人の割合とはどういうことか。表現について、検討してほしい。	ご指摘の趣旨を踏まえ、分かりやすい表現に修正します。
		(追加)めざそう値が相談件数だが、就労人数などのほうがいいのではないか。	相談支援事業所は、障害福祉サービス等を提供するための相談機関であり、その充実を図るため、単位施策としても位置付けていることから、このまま使っていきたいと考えます。
		(追加)「障害」の害は、最近使わない。	ご指摘のとおり、近年においては、「障害」という言葉には否定的な意味合いが強いという意見があり、そのイメージを和らげようと「障がい」と表記する動きもあるところですが、この課題の根幹には単に表記の方法にとどまらない問題が含まれていると考えています。 これらのことを踏まえ、本計画においては、当面、国や県の状況や動向を注意深く見守りながら、現状のまま変更せず、対応していききたいと考えています。
37	65	37P 基本方針において、「人間として平等の立場で」という表現は削除すべきと考えます。単位施策13-03において、「ノーマライゼーション」の用語解説が必要ではないでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、「基本方針」の表現を見直すとともに、「ノーマライゼーション」の用語解説を追加します。
38・39	66・67	(追加)協働でできることに町内ボランティア団体との協働による～文言整理を。	ご指摘の趣旨を踏まえ、修正します。
		(追加)森林保全計画について記載すべき。	ご指摘の点を踏まえ、記述を追加します。
40	68	40P 基本施策15循環型社会の形成において、ごみの焼却に関する記述が一切ないのは不自然である。特に現状と課題には記載すべきと考えが。	「現状と課題」の4つ目において、「ごみの焼却」も包含した内容(一般廃棄物の中間処理施設=ごみの焼却施設)として記載しています。
		P40 現状と課題の中に「経費の削減」を入れるべきでは。	「基本方針」と単位施策15-02「ごみの安定処理」において、経費の削減も含めた「効率的な処理」について記述しています。
41	69	P41 「ごみの安定処理」「近隣自治体等とのパートナーシップにより」としているが、なんら方向性が固まっていない中での希望的観測計画となっている。具体化して初めて計画に載せられるのではないか。	(パートナーシップの相手方となる近隣自治体のお考えが重要であることは十分認識していますが、)ごみの効率的かつ安定的な処理を近隣自治体等とのパートナーシップにより行っていくという町の基本的な方向性を示すことにより、パートナーシップ締結に向けたさまざまな取り組みを促進したいと考えています。
		41P 協働でできることにおいて、2項目目は今すぐに取り組むべき課題であり、来年の4月までに実施すべきであり、もし記載するのであれば、「引き続き」という表現を盛り込むべきと考えます。	ご指摘を踏まえ、修正します。
		P41 単位施策でも、経費面の記述がないが。	「基本方針」と単位施策15-02「ごみの安定処理」において、経費の削減も含めた「効率的な処理」について記述しています。
		(追加) ボランティア団体名が具体的に記載されていることに違和感を感じる。	ボランティア団体「ごみへらし隊」については、資源化・減量化を推進するうえで、行政が主体となり呼びかけ、町民との協働により設立した経緯を踏まえ、現行のままでいきたいと考えます。

事務局 案 ページ	答申案 ページ	論点等	町の考え方(案)
43	71	P43 「資源エネルギー対策の促進」「太陽光発電設備補助の推進」と述べているが、町が先頭に立って再生可能な自然エネルギーの促進を推進するべきでは。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。
45	73	45P 協働でできることにおいて、「公共下水道について学習し」とあるが一体全体何を学習しなさいと言っているのでしょうか。この表現も上から目線に感じられます。それとは別に、私道への敷設に協力して欲しい旨の記載を検討していただきたい。	ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を見直します。また、私道に関する記述については、その対象者が限定的になることもあり、本項目では記載しない方向で考えています。
47	75	P47 「合併浄化槽の普及・促進」では、市町村管理型の検討を行うべきでは。	合併処理浄化槽については、従来からの個人設置型による整備を推進したいと考えています。
		(追加)市街化調整区域についての方針を出すということか。	市街化調整区域における生活排水処理対策については、合併処理浄化槽の普及を図っていきます。
		47P 前項同様に何を学習するのか。「浄化槽についての情報や学習の機会を、町が積極的に行い、町民一人ひとりが、浄化槽についての知識を習得し、適切な維持管理に努め、川や……に貢献します。」ぐらいの表現に変更したらいかがでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、記述を見直します。
48	76	P48 「まちづくり指標」で、消防車両配備率を75%から87.5%としているのに、なぜ消防職員の充足率について触れていないのか。	「消防職員の充足率」については、今年度(26年度)、その整備水準の算定根拠である消防庁告示「消防力の整備指針」の見直しが行われているところであり、その結果を踏まえた対応をする必要があるため掲載していません。併せて現行案に掲載している「消防車両配備率」についても、同様の理由から取り下げたいと考えます。
		(追加)指針に則るわけではない。町消防としてあるべき姿を記載すべき。	
49	77	P49 「施設・設備の整備・充実」で、「近隣市との消防指令業務の共同化を行い」となっているが、なぜ横須賀市・三浦市ではないのか。	計画期間が6年間であることを踏まえ、柔軟な対応ができるような記述をしています。
48 50	76 78	48P 基本施策19及び50P 基本施策20において、どこかに「葉山町女性防火防災クラブ」と「葉山町赤十字奉仕団」の活動などに関する記載を加筆すべきと考えます。	当該団体の重要性は認識しているので、記述を追加します。
		(追加)原発について記載がないが。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。
51	79	P51 「防災基盤の整備」で、「聞きづらい時の補完手段」はどのようなものを想定しているのか。	聞きづらい時の補完手段における既存の取り組みを充実させるものとしては、災害テレフォン案内(防災行政無線と同じ内容が聞ける) 防災情報メールの活用・周知 ツイッターによる情報共有 ビーチFM割込放送等を想定しています。また、新しい取り組みとしては、JCOMとの連携による取り組みを想定しています。
52 53 54	80 81 82	P54 防犯についての記述は、「地域の防犯パトロールの支援」を単位施策に入れては。	単位施策21-01「防犯対策の推進」への記述を追加します。
		(追加)交通安全対策の推進、ソフトに関する施策だが、ハード面に関するものが必要では。	交通安全対策に関するハード面にかかる表記については、「基本施策27 安全で快適な町道の確保」中の「単位施策27-02 道路交通の安全確保」の中で記述しています。
58,59	86,87	P58,59 「現状と課題」では、まちづくり条例について「見直しに向け研究を進める」としながら、「具体的な取組」では、「今後のあり方の研究」となっているのはなぜか。また、見直しに当たっては町民参加で行われるべきではないのか。「協働でできること」に何も触れていない。さらに、町長の公約にある「環境影響評価条例を制定し、開発抑制」はどのように生かされているのか。	ご指摘の点を踏まえ、「具体的な取り組み」の記載について「条例の今後のあり方の研究」を「条例運用の見直しに向けた研究」に修正します。まちづくり条例の一部改正に係る協働の手法としては、他の条例と同様にパブリックコメント等による手法を考えています。
59	87	59P 協働でできることに、まちづくり推進協議会の設置に向けて、町内(自治)会と協働で調査・研究・検討を行います。のような文章を加筆してはいかがでしょう。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。
61	89	P61 町長の公約である「町なかにボールの蹴れる公園を」はどのように実現していくのか。	「単位施策24-01 地域のニーズに即した公園の創出」の中で、ご意見の趣旨を包含していると考えています。
61(75)	89(103)	61P 協働でできることにおいて、「主体的な利用や、アダプトプログラム(里親制度)を活用し、適正な維持・管理に取り組みます。」と加筆してはいかがでしょう。75P用語解説*25の移動が必要か。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。

事務局 案 ページ	答申案 ページ	論点等	町の考え方(案)
63	91	63P 協働でできることに、水辺の生物の観察会など、地域住民や子どもたちと、葉山の生態系に関する学習を行いますというような、文章を追記してはいかがでしょうか。	ご指摘の点については、「施策分野9 水環境」中の「基本施策17 公共下水道事業の推進」及び「基本施策18 合併処理浄化槽の整備」において記載します。
66	94	(追加)指標の満足度は、町民としては国、県、町道の区別なく応える。町道の確保の施策の部分なので指標が適切かどうか。	ご指摘の点は認識していますが、「基本計画」の進行管理においては、なるべく町民満足度などによる「成果指標(アウトカム)」をなるべく取り入れていければと考えており、現行の案でいきたいと考えます。
66	94	(追加)国、県道の整備に関しては、関係機関に要望するなどの記述をしてはどうか。	道路関係に限らず、町全般の施策における関係機関への要望については、「基本施策32 広報・広聴活動の充実」中の「単位施策32-02 広聴活動の充実」に記述を追加します。
67	95	67P 協働でできることにおいて、「道路清掃等」を「道路や側溝清掃等の」に加筆してはいかがでしょうか。	現行の表記の中で、ご指摘いただいた内容を包含しているものと考えます。
69	97	69P 協働でできることにおいて、「迂回等に協力していきます」の表現がしっくりときません。無理に項目をたてなくても良いのではと考えますが。	ご指摘の趣旨を踏まえ、削除します。
71	99	P71 「バス路線の充実」で、「バスの新たな運行路線」とあるが、具体的にどのような路線が想定されるのか。	「亀戸橋を軸とした海岸線や山手線の相互乗り入れ、8の字運行」や「葉桜、イトーピア地域から役場前、上山口から海岸線経由の町内循環運行」を想定しています。
		71P 単位施策29-02において、「ベンチや屋根の設置及びバスペイを全停留所に設置できるよう、関係機関と……。」と加筆してはいかがでしょうか。	バス停の設置場所の現況(歩行者の安全確保、歩道の整備)等を踏まえた対応が必要と考えておりますので、現行案のままでいきたいと考えています。
		71P 協働でできることに、町内巡回のコミュニティーバス運行に向けた調査・研究を引き続き進めま、というような文章項目を加筆してはいかがでしょうか。	公共交通環境の整備にあたっては、コミュニティバスのみならず、様々な手法(ICTまちづくり、官民連携等)を検討する必要があると考えていますので、それらを包含した表現を単位施策の中で検討します。
73	101	P73 「地域に根ざした農業の振興」に休耕地対策の研究なども盛り込むべきでは。	ご指摘の趣旨を踏まえた記述を追加します。
		73P 単位施策30-04において、6次産業化の推進で一番大切なのは、産官学の協働による研究開発ではないでしょうか。販売拠点の整備は協働でできることへの記載で十分ではないかと考えます。	ご指摘の趣旨についての重要性は認識していますが、様々な主体との連携については、「協働でできること」で記述しています。
74,75	102,103	P74.75では観光客の増加を述べているが、道路交通計画の策定なくして観光客の増加は望めないのでは。	葉山らしい観光は、観光客が殺到するようなスタイルではなく、葉山で暮らす町民の生活スタイルが地域の魅力となって発信され、ゆったりとした時間が流れる観光スタイルであると考えています。その方策としては、まずは「単位施策31-01 地域資源の魅力化・ネットワーク化」にあるような地域の観光資源を徒歩・自転車などで楽しく安全に回遊できるようにしくみづくりを進めていくことや、「単位施策31-02 観光PRの推進」にあるような様々な情報発信手段による観光PR、地域住民の生活との共存のための観光マナー向上に向けた取組みを進めていきたいと考えています。
74	102	(追加)現況と課題の4つ目に交通渋滞の課題を認識しているが、これに関する取り組みの記述がない。	ご指摘の点についての対応は、「基本施策29 公共交通の環境整備」において整理しています。
75	103	(追記)クラウドファンディングの手法についてこの施策にのみでてきている。その他の施策にも検討の余地があると思われるので、「健全な財政運営の維持」の部分で記述したらどうか。	ご指摘の点については、「基本施策38 健全な財政運営の維持」中の「単位施策38-01 財源の確保」において、「新たな財源の積極的な開拓」という表現に包含しています。
74	102	(追加)現況と課題の3つ目東京オリンピックの開催が決まり云々は、オリンピック開催の目的から観光施策の枕詞として相応しくない	ご指摘の趣旨を踏まえ、削除します。
79~	107~	「基本理念4 みんなで支える葉山」で住民自治についてなんら触れられていない。	ご指摘の趣旨については、「基本構想」中の「基本理念」前文において包含していると考えています。
83	111	83P 単位施策33-01において、「協働のまちづくりの指針を策定します。」と断定した記載をされているが、どのような形を考えているのか。例えば「まちづくり自治基本条例」の策定か。もしくは「まちづくり憲章」の創案を考えてのことか。いかがでしょうか。	協働のまちづくりを推進していくうえで、協働に対する考え方・認識を町民と行政が共有し、本町における協働の意義や原則といった基本的な考え方を示すものを想定しています。策定後は、この協働指針をもとに、協働の事例やノウハウの共有、協働に関する情報の収集と発信、課題解決に向けた実践的な取組みを重ね、さらなる協働の充実を図り、協働によるまちづくりを目指していくことを考えています。
85	109	P85 「広聴活動の充実」では、パブリック・コメント条例の制定研究を行うべきでは。	ご指摘の点を踏まえ、記述を追加します。

事務局 案 ページ	答申案 ページ	論点等	町の考え方(案)
89	117	P89 町長の公約でもある「ワンストップサービス提供の確立」を盛り込むべきでは。	ご指摘の点については、各所管課等間での丁寧な案内(つなぎを良くする)が重要であると考えており、その記述については「単位施策36-01 効果的・効率的な組織体制の整備」中の“横断的な連携のとれる組織運営”という表現にワンストップサービス確立の方向性を包含しています。
91	115	91P 協働でできることにおいて、「町民は行政運営に関心を持ちます。」という表現があるが、これも無理やりくっつけたような感じがしてなりません。もっと違った表現を望みます。	ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を見直します。
92,93	120,121	P92,P93 めりはりのある財政運営、町債の活用等、財政の引き締めの方針を転換したような記述があるが、むしろ「財政規律の維持、基金の充実」をうたうべきでは。	ご指摘の趣旨を踏まえ、記述内容を見直します。
92,93	120,121	(追加)町債の用語解説が必要ではないか。	ご指摘の点を踏まえ、記述を追加します。
92	120	(追加)現況と課題の5つ目「必要な」がくどすぎる	用法としては適切であるので、現行案のままでいきたいと考えます。
93	121	(追加)遊休資産 使われていない町有地にしてはどうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を見直します。
92,93	120,121	(追加)現況と課題、最新のデータに置き換えるべき。特に2つ目、平成24年度末でなく平成25年度末の財政調整基金に。「メリハリのある」と「メリハリある」が混在なので統一すべき。町債など説明が必要。	ご指摘の点を踏まえ、最新の数値に差し替えるとともに、「メリハリ」の表現については、ご指摘を踏まえ、表現を見直します。また“町債”ほか分かりにくい用語には、解説を加えます。
95	123	P95 「方針及び計画」は利用者や町民参加で行うべきでは。	ご指摘の趣旨を踏まえ、記述を見直します。
		P95 「使われていない町有地の利活用も含め」という趣旨の文章が必要ではないか。	ご指摘の点を踏まえ、記述を追加します。
96	124	96P 基本施策40において、めざそう値が20件とあり、現状値より6件増えているが、何を想定しての数字か根拠が知りたい。また97Pの協働でできることの文章も取ってつけたような表現で、具体的な取り組みもわからないのに、参加・協力を促すような表現は避けるべきと考えますがいかがでしょうか。	今後、連携で取り組むことができる事項を踏まえて、設定しています。また、協働でできることについては、ご指摘の点を踏まえ、表現を見直します。
97	125	(追加)三浦半島サミットの取組みについては、新たな施策なので単位施策40-02として、別記したらどうか	ご指摘の点については、「単位施策40-01 効果的な連携・協力の推進」の記述において、その内容を包含しています。
その他	その他	原案の段階であり、「基本構想(案)」と同様の諸点に検討すべきところがある。	ご意見をいただきながら、策定作業を進めます。
		行政計画であり、全体的に、もっと町の姿勢を明確にすべきでは。	
		基本計画の第1期は6年としているが、めざそう値がなぜ5年目の平成31年度なのか	「基本計画」については、PDCAサイクルによる進行管理を考えており、いわゆるC(評価)の部分については、目標値にあたる「めざそう値」の達成度を中心に基本施策全体を振り返っていくことを想定しています。そのため、あえて、5年目に置くことにより、その振り返り結果を次期基本計画の策定の基礎資料として活用することを目的として設定しました。 しかしながら、ご指摘のとおり、目標値については、計画最終年度に設定することが適切であると考え、修正します。
		「協働でできること」行政側からの目線なのか、市民目線なのか	両者の目線から提案していますが、分かりやすくなるよう表現を工夫します。
		全体として、まちづくり指標の「めざそう値」という表現が軽く感じる。やはり「目標値」が良いのではないのでしょうか。てにをはや、漢字表記など細かい字句の変更に関しては、委員会の中で具体的に指摘させていただきます。	町民の方が親しみやすい表記として、「めざそう値」としているため、現行案のままでいきたいと考えています。
		全体として、「協働でできること」の記載に過不足が感じられる。具体的に、各ページで検討をお願いします。何点が提案しているので、参考にさせていただければと思います。	提案いただいた内容を参考にさせていただきます。
全体的な意見として 総合計画とリンクする各種計画も27年度スタートとはできなかったのか。	計画の更新時期が合致し、整合を図ることができるものについては、その内容について記述内容について整合を図り、策定作業を行います。		